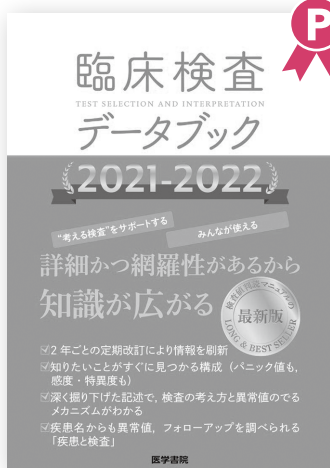


#医学書院の新刊

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.380)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。

P



臨床検査データブック 2021-2022

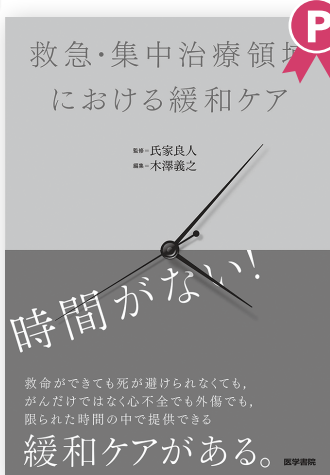
高久史磨＝監修

黒川 清、春日雅人、北村 聖＝編集

大西宏明＝編集協力

本体 4,800 円＋税／B6 判・1136 頁／医学書院／2021

“考える検査”をサポートする検査値判読マニュアル、2年ごとの改訂版。読みやすく使いやすいと評判のきめ細やかな構成。「パニック値」「異常値のメカニズムと臨床的意義」「見逃してはならない異常値」「薬剤の影響」「患者指導」など知りたいことがすぐひける。特定背景のある患者に特徴的な検査値も追加。疾患名ごとに診断・経過観察に必要な検査、疾患特異的な異常値をまとめた「疾患と検査編」も拡充。全医療者必携。



救急・集中治療領域における緩和ケア

氏家良人＝監修

木澤義之＝編

本体 2,700 円＋税／B5 判・200 頁／医学書院／2021

救命できても死が避けられなくても、がんだけでなく心不全でも外傷でも、緩和ケアニーズは存在する。救急外来やICUにおける緩和ケアニーズのアセスメント、患者・家族とのコミュニケーション、苦痛症状に対するケアまで、時間が限定された救急外来やICUだからこそ提供できる緩和ケアがある。「救命か、緩和か」ではなく、「救命も、緩和も」をかなえるために、領域を越えて編まれた初めての書。